

第17回 アストロトーク



京都千年天文学街道

講演 13:30 - 14:30

『超新星の科学』

京都大学大学院理学研究科名誉教授 小山勝二 氏

4次元宇宙シアター 14:45 - 15:30

『3Dでみる宇宙のすがた ～土星のおはなし～』

京都大学大学院理学研究科附属天文台 青木成一郎 氏

2014年10月25日(土) 13:30 - 15:30 (受付13:15から)

開催場所: 京都大学総合博物館[百万遍下ル] 3階講演室

参加条件 : 小学生以上(小学生は保護者同伴)

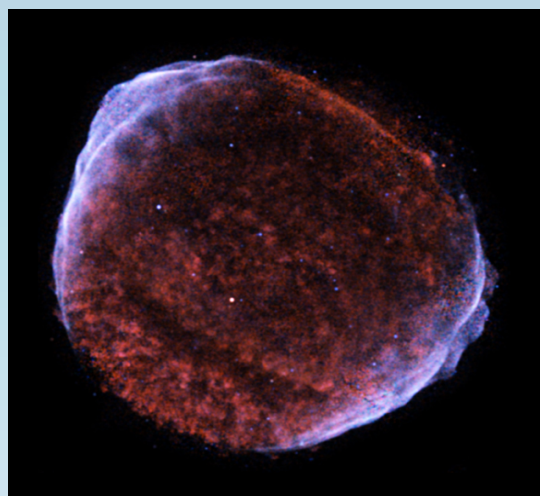
参加費資料代 : 小中学生500円、一般(高校生以上)1,000円

申込方法 10月23日(木)申込み〆切

インターネットの場合は <http://www.tenmon.org/>

お電話の場合は 075-823-3640 (10:00-18:00 受付)

株式会社ビューティフルツアー (担当:岡本)



約1000年前に爆発した星の残がい
(超新星残がい)

別途、博物館の入館料が必要です。

小中学生200円、
高校大学生300円、
一般400円

身体障害者手帳をお持ちの方、70歳以上の方は入館料無料(年齢確認ができるものをご提示ください。)



土星



主催 認定NPO法人花山星空ネットワーク

画像提供 NASA

共催 京都大学総合博物館、京都大学大学院理学研究科附属天文台

後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会

協力 株式会社ビューティフルツアー、株式会社ヒーロー

<http://www.tenmon.org> (京都千年天文学街道ホームページ)

● アストロトークの概要

- 講演の概要:** 星は生まれたときの質量で終末の姿が運命づけられています。太陽より10倍も重い星では、超新星爆発を起こし、超小型で超高密な中性子星が残り、パルサーとして観測されます。しかし太陽の質量程度の星でも、連星の相手の星からガスを吸い取って超新星爆発を起こすことがあります。そのような超新星の残がいの人工衛星によるX線観測の結果をお話します。
- 4次元宇宙シアターの概要:** 国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト提供の Mitaka を使用し、宇宙のすがたを3Dメガネで見てみましょう。太陽系から銀河系をぬけ、宇宙の地平線まで、最新天文学に基づく宇宙の姿をお見せします。今回は、特に土星について詳しくお話します。

● 講演者紹介



小山勝二(京都大学大学院理学研究科 名誉教授):講演担当

- 専門は宇宙線物理学。わが国の人工衛星ロケットによるX線観測の草分けで銀河中心や超新星残骸などのエネルギーメカニズムを明らかにした。近年は天文普及活動にも熱心で「京都千年天文学街道」の提唱者である。専門書から一般普及書まで著書多数。「紫綬褒章」受賞。



青木 成一郎(京都大学大学院理学研究科 職員):4次元宇宙シアター担当

- 専門は宇宙プラズマ物理学。天文教育普及にも力を入れており、4次元宇宙シアターによるイベント運営多数。「京都千年天文学街道」実行副委員長。「平成25年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門」受賞。

■ 京都大学総合博物館への行き方

総合博物館周辺の地図



■ 京都市バスをご利用の場合

JR/ 近鉄京都駅から17,206 系統
 阪急河原町駅から3,17,31,201 系統
 地下鉄烏丸線今出川駅から201,203 系統
 地下鉄東西線東山駅から31,201,206 系統
 百万遍(ひやくまんべん) 停留所で下車徒歩約2分

■ 京阪電鉄をご利用の場合

京阪本線“出町柳(でまちやなぎ)” 駅で下車、今出川通りを東進し、百万遍(ひやくまんべん) 交差点を南に折れてすぐ(出町柳駅から徒歩15分)



京都千年天文学街道ホームページ

<http://www.tenmon.org>

QRコード(携帯電話など)→

